

2. 指標設定

成果指標	指標名	林道の維持管理		目標年度	指標の設定理由			
	数値	-			H27	総合計画/後期基本計画において、基本施策(4-1-2)目標達成のために重要な施策となっている		
活動指標	指標	a	維持補修額	b	c		d	
	数値	目標	-	目標	目標		目標	

3. 実績（上段・実績/下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
林道の維持管理		-	-	-
		-	-	-

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 維持補修額	千円	55,782 千円	6,999 千円	15,694 千円
b		-	-	-
c		-	-	-
d		-	-	-

4. 課題と対応

課題
未舗装箇所が、異常気象の降雨により洗掘され通行に支障きたしている箇所があり、維持管理面からも早期の舗装が必要である。
対応（改善点等）
国・県の補助事業による林道（舗装）事業の検討、要望。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

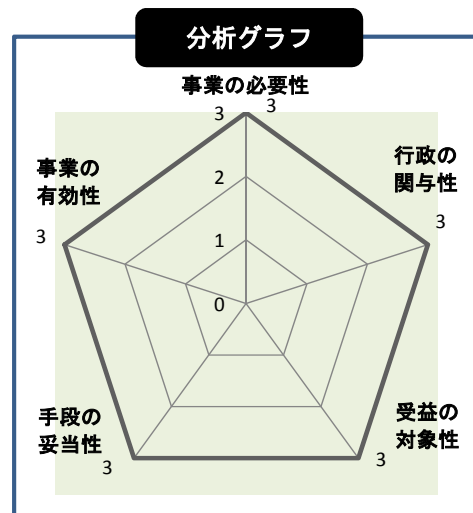
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
うち経常経費		67,849	12,115	31,147	14,458
うち経常経費		8,922	12,115	5,454	14,458
財源内訳	国費	40,000			
	県費	8,600		4,999	
	市債				
	その他				
	一般財源	19,249	12,115	26,148	14,458
うち経常		8,922	12,115	5,454	14,458
事業費に係る人件費		2,580	1,718	1,744	2,218
事業費に係る人役		0.60	0.40	0.40	0.50

6. H27年度予算の方向性

方向性
予算措置なし
理由
林道整備事業への事業統合のため。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 通行者の安全な通行を確保を目的に実施する維持管理事業の必要性は高い。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 林道管理者は市である。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 対象者は林道の利用者であるため、公共性は高い。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 異常気象発生後の点検はもとより、定期的な点検/パトロールによる補修箇所の把握補修は重要である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 対策工事の実施により、目標である利用者の安全な通行が確保されていると判断する。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
廃止	林道整備事業への事業統合。